

認定権者記載欄


様式第 5 - (ロ) - ①

(本様式は、1つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合に使用する。)

中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 5 号の規定による認定申請書 (ロ-①)

令和 年 月 日

北九州市長 様

申請者 所在地  
企業名  
代表者名  
Tel

私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、主要原材料である原油及び石油製品 (以下「原油等」という。) の価格が著しく上昇しているにもかかわらず、製品等価格の引上げが著しく困難であるため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 5 号の規定に基づき認定されるようお願いします。

(表)


※表には営んでいる事業が属する業種 (日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名) を全て記載 (当該業種は全て指定業種であることが必要)。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近 1 年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

記

①原油等の仕入単価の上昇 (上昇率が20%以上となっていること)

$$\frac{E}{e} \times 100 - 100$$

E : 原油等の最近 1 か月間における平均仕入れ単価

e : E の期間に対応する前年 1 か月間の平均仕入れ単価

上昇率 \_\_\_\_\_ %  
円  
円

②原油等が売上原価に占める割合 (依存率が20%以上となっていること)

$$\frac{S}{C} \times 100$$

C : 申込時点における最新の売上原価

S : C の売上原価に対応する原油等の仕入価格

依存率 \_\_\_\_\_ %  
円  
円

③製品等価格への転嫁の状況 (P>0となっていること)

$$\frac{A}{B} - \frac{a}{b} = P$$

A : 申込時点における最近 3 か月間の原油等の仕入価格

a : A の期間に対応する前年 3 か月間の原油等の仕入価格

B : 申込時点における最近 3 か月間の売上高

b : B の期間に対応する前年 3 か月間の売上高

P = \_\_\_\_\_  
円  
円  
円  
円

※ 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

北九州市指令産雇中第 1 - 号

申請のとおり相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期限 : 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

令和 年 月 日

北九州市長 北橋 健治 印

(表 1 : 事業が属する業種毎の最近 1 年間の売上高)

業種	最近の売上高	構成比
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%
全体の売上高	円	100%

※業種欄には、営んでいる全ての事業が属する業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を記載。細分類業種は全て指定業種に該当することが必要。

※指定業種の売上高を合算して記載することも可。

(表 2 : 企業全体に係る原油等の仕入単価の上昇)

	原油等の最近 1 か月の平均仕入単価	原油等の前年同月の平均仕入単価	原油等の仕入単価の上昇率 ( $E/e \times 100 - 100$ )
企業全体	円【E】	円【e】	%

(表 3 : 企業全体の売上原価に占める原油等の仕入価格の割合)

	最新の売上原価	最新の売上原価に対応する原油等の仕入価格	売上原価に占める原油等の仕入価格の割合 ( $S/C \times 100$ )
企業全体	円【C】	円【S】	%

(注) 最新の売上原価及び原油等の仕入価格は、直近の決算期の値を用いることも可。

(表 4 : 企業全体の製品等価格への転嫁の状況)

	最近 3 か月間の原油等の仕入価格	最近 3 か月間の売上高	(A/B)	前年同期の原油等の仕入価格	前年同期の売上高	(a/b)	$(A/B) - (a/b) = P$
企業全体	円【A】	円【B】		円【a】	円【b】		

(注) 申請にあたっては、営んでいる事業が全て指定業種に属することが疎明できる書類等（例えば、取り扱っている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など）や、企業全体の原油等の仕入価格、売上原価及び売上高が分かる書類等（例えば、試算表、売上台帳、仕入帳など）の提出が必要。

令和 年 月 日  
上記につき相違ありません。

所在地  
企業名  
代表者名  
TEL

実印

# 融資申込みに係る反社会的勢力でないことの表明・確約書

令和 年 月 日

北九州市産業経済局中小企業振興課 殿

所在地  
名称  
代表者名

印

私（申込人が法人の場合には、当該法人の役職員等を含む。以下同じ。）及び代理人は、次の1の各号のいずれかに該当し、もしくは2の各号のいずれかに該当する行為をし、または1に基づく表明・確約に関して貴課に虚偽の申告をしたことが判明し、貴課が融資を行うことが不適切であると判断した場合は、融資の申込みを断られても異議申立てをいたしません。また、これにより損害が生じた場合でも、すべて私の責任といたします。

以上について確約の上、貴課に融資を申し込みます。

なお、本書の内容について、貴課が福岡県警察本部に照会することを承諾します。

- 1 私は、現在、次の各号に該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約いたします。
  - (1) 暴力団
  - (2) 暴力団員
  - (3) 暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者
  - (4) 暴力団準構成員
  - (5) 暴力団関係企業
  - (6) 総会屋等、社会運動等標榜ゴロまたは特殊知能暴力集団等
  - (7) その他これらに準ずる者
  - (8) 次に掲げる暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する者
    - ア 暴力団員が事業主又は役員に就任している法人等
    - イ 暴力団員が実質的に運営している法人等
    - ウ 暴力団員であることを知りながら当該暴力団員を雇用し、又は使用している者
    - エ 契約の相手方が暴力団員であることを知りながら当該暴力団員と商取引に係る契約を締結している者
    - オ 暴力団又は暴力団員に対して経済上の利益又は便宜を供与している者
    - カ 暴力団又は暴力団員と社会的に非難される関係を有している者
- 2 私は、自らまたは第三者を利用して次の各号のいずれかに該当する行為を行わないことを確約いたします。
  - (1) 暴力的な要求行為
  - (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
  - (3) 融資斡旋に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
  - (4) 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて貴課の信用を毀損し、又は貴課の業務を妨害する行為
  - (5) その他前各号に準ずる行為